

題目：eラーニングを用いた新任主任理学療法士の管理業務教育支援に関する提案

保健医療学専攻・理学療法学分野・応用理学療法学領域 学籍番号：17S3064 氏名：山下淳一
研究指導教員：堀本ゆかり教授 副研究指導教員：小野田公准教授

キーワード： 役割移行，キャリア支援，主任職，人材育成

「研究の背景と目的」JA 厚生連は各都道県で 107 病院・64 診療所など農山村地域の医療や保健を支える存在として設置・運営されている。農山村地域は，都会に比べ医療施設に恵まれておらず，また，農作業をするときに発生しやすい疾病や農業の機械化に伴う労働災害もある。しかしながら，施設間の連携は乏しく特に管理業務を担う人材の心的ストレスが垣間見える。

上田¹⁾は，看護師の役割移行を「新たな領域での活動に意味を見出し，一定期間の継続活動を経て新たな行動様式を獲得していく過程」と定義している。理学療法士養成課程では，教育や管理に関する教育を受けぬまま，管理業務を任されるが，役割移行時の困難感に着目した報告は希少である。

本研究では，特に科長職と一般職員の橋渡し役である主任職に着目し，役割移行時の困難感を軽減する目的で，実態調査と対策を講じた。農山村地区の病院・施設の職員とも連携ができるよう，eラーニングを用いた人材育成システムを構築した。

「対象および方法」

予備調査

1. 理学療法部門の主任から抽出した主任の管理業務に関する予備調査

対 象：日本国内の病院に常勤で勤務する理学療法部門の主任

方 法：質問紙調査(インターネット調査)

調査項目：基本属性，主任職の業務や困難感に関する内容

2. 理学療法部門の責任者から抽出した主任の管理業務に関する予備調査

対 象：厚生農協協同組合連合会関連 97 病院の理学療法部門の所属長

方 法：質問紙調査(郵送調査法)

調査項目：基本属性，役職名・昇進基準・必要と考える指導に関する内容

分 析：単純集計，テキストマイニング

調査期間：平成 30 年 9 月 10 日～平成 31 年 1 月 31 日

研究 1. 就任初期の理学療法部門の主任から抽出した主任の管理業務に関する実態調査

対 象：日本国内の病院に常勤で勤務する就任初期の理学療法部門の主任

方 法：質問紙調査(インターネット調査)

調査項目：管理・運営業務に関する内容

調査期間：平成 30 年 11 月 26 日～平成 31 年 1 月 31 日

分 析：基本統計量，テキストマイニング，因子分析，重回帰分析，構造方程式モデリング

研究 2. 現状課題に対する対策案の提示 —人材育成体制の構築—

対 象：研究 1 の継続研究に同意した就任初期の主任 32 名

方 法：e ラーニングを用いた人材育成システムの試用

試用期間：令和元年 4 月～5 月

研究 3. パブリックコメントの収集と修正 —活用可能性の検討—

対 象：研究 2 の対象者

方 法：質問紙調査(インターネット調査)

調査項目：本システムの活用可能性に関する意見収集

調査期間：令和元年 5 月 10 日～30 日

分 析：各項目の単純集計，Customer Satisfaction Analysis

「倫理上の配慮」国際医療福祉大学研究倫理審査委員会の承認（承認番号：18-Io-1）を得た。

「結果および考察」主任業務の内容は，管理業務，人材育成，担当病棟の運営，各種会議への参加，他部門との連携や調整であった。これらの役割を受け持つ就任初期の主任は，臨床業務との兼任で生じる質的，量的課題があると推測された。管理業務の修得は上司や先輩を役割モデルとして，OJT ですすめる傾向があるが充実感は低く，管理業務よりも臨床業務への意識の偏重がみられた。充実感を高める要因のモデル適合度は，AGFI が 0.86，CFI が 0.90 と良好な当てはまりであり，それらを支援する OJT 教育の見直しと Off-JT 教育支援プログラムが必要であると考えられた。これらの調査結果をもとに，就任初期の主任に対する管理・運営に視点を置いた新しい e ラーニングを用いた Off-JT 教育による人材育成システムを構築した。一定期間の運用後，本システムの満足度について調査，分析を行った。医学教育における e ラーニングの活用は IT 技術の発達に伴い，需要が増加している。農山村地区などの遠隔地でも情報共有や人材育成が可能なコンテンツを用いることによって，労働時間の効率化も期待することができる。本システムの限界は，JA 厚生連の理学療法領域に限定したコンテンツであり，未だ試用段階であることである。使い勝手の調整を重ね，現実的な運用に向けたたいと考える。

「結語」農山村地区の医療を支える JA 厚生連の理学療法領域の主任に対する人材育成システムを構築した。本システムは，就任初期の管理者における業務ストレスの軽減と人材育成に寄与する可能性がある。

「引用文献」1) 上田貴子.看護職者の役割移行:概念分析.日本看護科学会誌 2014;34:272-279